

令和5年11月2日

## 令和5年度地熱資源開発研修 募集要項（追加募集）

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

気候変動に伴う自然災害の増加等により、我が国においては、再生可能エネルギーに対する関心が更に高まっており、地熱資源についても開発の動きが活発化しています。一方、地熱分野を扱う大学等の教育機関や、地熱資源開発を体系的に学ぶための中長期間の研修等が減少したことなどから、今後の地熱資源開発を担う若手技術者を養成する機会が望まれてきているところです。

このため、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）では、我が国の地熱資源開発に携わる人材の育成を目的として「令和5年度地熱資源開発研修」を実施します。

ついては下記の通り受講生を募集しますので、研修参加を希望される方は令和5年11月9日(木)までに、下記申込書受付先にご応募ください。

### 記

1	研修内容	地熱資源開発に必要な実践的な知識の取得、熟練技術者から若手技術者への技術の継承、若手技術者のネットワーク形成等を目的とし、次の分野等について研修する。 ・地質、地化学、物理探査、検層、掘削、貯留層工学、温泉科学、環境影響、地上設備、発電設備、経済性評価等の地熱開発に関する各分野の座学及び地熱開発現場の見学。
2	講師	政府系機関、大学、地熱資源開発関係企業等の学識経験者及び実務経験者
3	研修期間	令和5年11月27日(月)～12月15日(金)
4	カリキュラム	別添資料①参照。
5	研修場所	令和5年11月27日(月)～12月8日(金)（第1、2週） 国際資源大学校 （秋田県鹿角郡小坂町小坂鉦山字古館9番地3） 令和5年12月11日(月)～12月13日(水)（第3週） 東京都港区虎ノ門近隣の貸会議室
6	宿泊場所	ホテル小坂ゴールドパレス（第1、2週） （秋田県鹿角郡小坂町小坂鉦山字古館9番地3） 注：宿泊場所の手配は、事務局が行います。ただし、滞在費(宿泊代、食事代等)は各自で清算願います。 東京での宿泊場所は各自で手配。（第3週）
7	募集定員	10名程度 希望者が多数になる場合には、JOGMECが申込書の記載内容により調整させていただきます。

8	対象者	入社後、数年から10年程度、地熱資源開発関連業務に従事した経験を有し、又は従事する予定の者。
9	受講に必要な物	受講者全員：Excel計算のできるPC等 フィールドトリップ参加者のみ：現場見学の服、防寒具（安全靴、ヘルメットは不要）、動きやすい靴
10	受講料	無料。ただし、次の費用については、参加者にご負担頂きます。 ・帰赴任交通費(研修先までのタクシー乗車料金含む)、滞在費(宿泊、食事代等)、地熱開発現場視察時の交通費、通信運搬費、国内旅行保険代等
11	申込期限	令和5年11月9日(木)
12	受講確定通知	令和5年11月10日(金)頃
13	申込書受付先 お問合せ先	受講希望者は、別添資料②の申込書に必要事項を記入の上、以下に申し込んで下さい。 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 地熱事業部 担当：森田、吉川 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 TEL：03-6758-8001 FAX：03-6758-8087 E-mail：kenshu2023@jogmec.go.jp
14	事務局	本研修の実施に当たっては、その業務の一部を「一般財団法人国際資源開発研修センター」に委託することとしています。受講確定通知後、研修参加者への各種連絡は、同センターから差し上げます。

<注意事項>

- Excel表計算を用いたデータ処理演習・経済性評価演習等がありますので、必要なソフトウェアが使えるノートパソコン等を持参してください。
- 冬季の東北地方での研修となるため、十分な防寒対策をお願い致します。フィールドトリップ(九州地方)についても同様です。
- 参加に当たっては予め、インフルエンザ等の予防接種を推奨します。
- 今後の本研修の充実化等のため、全受講生を対象にアンケート等を実施します。

以上